



# STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ2013推進ニュース

「社会保障・税一体改革 阻止・介護保障制度の抜本改善を!!」

## - 今年も介護の"Big Wave"をおこそう! -

大阪 京橋駅宣伝8月7日(介護福祉ニュース 2013年8月8日 大阪民医連介護福祉委員会発行 vol. 37 より)

# 110人を超える参加で 訴える!!



大阪民医連介護職部会では、8月7日夕刻、京橋駅頭で介護改善を訴える大宣伝行動を行いました。矢島圭介護職部会部長の開会の訴えで始まった宣伝行動には、かわち野医療生協(52名)、淀川勤労者厚生協会(29名)、ヘルスコープおおさか(22名)、社会医療法人同仁会(6名)、けいはん医療生協(2名)、なにお保健生協(2名)、県連事務局(2名)《事務局把握分》に加えて、全日本民医連介護・福祉部事務局・諏佐さんも東京から駆けつけてくれました。

10名の職員がそれぞれマイクを持って、「施設や在宅など介護を必要とする方が年々増加する中、介護職員の人手不足や介護保険制度と現状のミスマッチにより、介護現場は崩壊寸前の状況です」、「職員の疲労は極限に達し、腰痛など身体的、また精神的負担は計り知れない中、休職に追い込まれる職員も少なくありません」などと訴えを行いました。立ち止まって聞き入る人、横断幕の説明内容をじっくりと見る人などなど、多くの人々の心に届く宣伝となりました。

今後は、介護ウェーブ実行委員会から、11月11日の介護の日に向けて、10月10日の『事前学習会』と当日の難波駅(予定)の大宣伝が提起されています。

## 「大阪の介護ウェーブ行動にはめっちゃ人が集まるらしい・・・」



【全日本民医連事務局 諏佐史枝】

ということで、そんな介護の宣伝を実際に体感してきました。2008年から始まった大阪の介護職部会主催の大宣伝は年に3回。おとしは170名もの職員が集まったため、次の年は宣伝場所を2か所に分けたそうです。今回の宣伝場所は、とにかく人通りの多い駅のコンコース。各法人から、思い思いの格好で集まってきました。1年目の職員からベテラン職員まで、足早に通っていき人びとに果敢にチラシ『本当はあぶない社会保障制度改革推進法』を渡していました。

参加していた若い職員さんにインタビュー。「チラシの受け取りが悪かったりするとくじけるけど、横断幕を見ただけでもやったかがあるかな」、「職場で声をかけられたので、(やむをえず)参加しました」、「とにかく職場では声かけが多く、参加者の半分以上が常勤でない職員さん。参加する雰囲気が出てくる」、「署名があると、対話がしやすいんですけどね〜」

医療生協かわち野では、社保活動の一環として介護ウェーブを行っているようで、医療の職員も介護ウェーブに参加するし、介護職員もナースウェーブ等に参加して一緒に活動しているとのこと。なかなか参加にふみきれない人にも「3回のうち1回は出てみよう」、「介護の改善活動は自分のことでもあるよ」と声をかけ、職場・法人全体で雰囲気づくりをしているそうです。

## 今後の主な「介護ウェーブ会議」予定 (\*申し込み不要です)

- ★「社会保障制度改革国民会議の答申を受けた社保学習講師養成講座」※詳細は通達第ア-708号参照  
9月9日(月) 13:30~17:00 平和と労働センター(7階に全日本民医連)
- ★「拡大社保委員長・共同組織委員長合同会議」2日目は介護ウェーブ会議※詳細は通達第ア-691号参照  
9月21~22日 タイム24ビル(東京)

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：諏佐・山平  
☎ 03-5842-6451 / fax 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp